

第 15 回 JWRC 水道講座のご案内

1. 主催 : 公益財団法人 水道技術研究センター
2. 協力 : Japan-YWP
<http://www.japan-ywp.site/index.html>
3. 日時 : 令和 3 年 9 月 17 日 (金) 14 : 00 ~ 16 : 00
4. 開催方法 : Web 開催 (Zoom アプリを利用)
5. プログラム (内容については一部変更する場合がございますので予めご了承下さい。)

受付開始 13:30~		
主催者挨拶	(公財) 水道技術研究センター	14:00~14:05
協力者挨拶	Japan-YWP	14:05~14:10
① 浄水用ろ過膜の完全性とそのモニタリングについて	東京大学 先端科学技術研究センター 講師 橋本 崇史	14:10~15:00 (発表 45 分, 質疑 5 分)
(休 憩) 10 分		
② 水道事業ガイドライン(PI)を活用した現状分析手法について~ツールによる分析・評価手法~	(公財) 水道技術研究センター 調査事業部 主任研究員 日下部 貴章	15:10~16:00 (発表 45 分, 質疑 5 分)

6. 定員 : 200 名
7. 参加対象者 : JWRC 会員、Japan-YWP 会員、水道事業体及び関連団体、学生
8. 参加費 : 無料
9. 申込方法
受講申込書を web ページよりダウンロードいただき、必要事項をご記入の上メール (kouza@jwrc-net.or.jp) にてお申込み下さい。定員になり次第締め切りますので、ご注意下さい。
10. 申込期限 : 令和 3 年 8 月 31 日 (火)
11. その他
 - ・ 新型コロナウイルス感染症等の状況、社会情勢を鑑み、本講座を Web での開催といたします。
 - ・ 単独の団体・所属からの申込者多数となる場合は、参加者数の調整をお願いすることがございます。

【 申込問合せ先 】
(公財) 水道技術研究センター 調査事業部 渡辺・中野
TEL : 03-5805-0264
申込先 e-mail : kouza@jwrc-net.or.jp

講師プロフィール

橋本 崇史 講師（東京大学 先端科学技術研究センター 講師）

➤ 略歴

- ・2008年9月 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、博士（工学）
- ・2008年10月 メタウォーター株式会社 R&Dセンター
- ・2014年4月 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 助教
- ・2019年3月 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 講師
- ・2019年4月 東京大学先端科学技術研究センター 講師、現在に至る

➤ 講演にあたっての講師コメント

国内で膜ろ過浄水施設の導入が始まって30年近くが経過し、処理プロセスや技術に関する様々な知見が蓄積され、応用も広がってきています。その一方で、膜の劣化や破断、膜交換についての知見は、収集に長期間を要すること、また各施設に固有であることから限られています。また膜素材の開発も進み、より強度が高い膜も導入されてきています。そのような背景の中、これからの膜ろ過浄水処理の安全性、ろ過膜の完全性、劣化や破断の影響、そのモニタリング手法について、改めて考えていく機会となれば幸いです。

日下部 貴章（(公財) 水道技術研究センター 調査事業部 主任研究員）

➤ 講演にあたってのコメント

平成17年1月、「水道事業ガイドライン」が、日本水道協会規格として制定されたことで、水道事業体は水道業務やサービス水準を、PI（業務指標）を用いて定量的に把握・分析できるようになりました。これを受けて水道技術研究センターでは、全国事業体のPIの度数分布図やPIを計算するためのツール等を公開し、事業体が効果的にPIを活用できるような支援に取り組んでいます。また、平成23年度から平成27年度まで取り組んでいた「水道事業の業務評価等に係る研究」の成果として、事業体がPIを活用して自らの事業を現状分析し改善方策を検討できるツールを開発しておりますので分析・評価手法を含めてご紹介させていただきます。